

# 地質情報展2006こうち 「黒潮よせるふるさとの地質」開催報告

吉田 朋弘<sup>1)</sup>

2006年9月15日(金)～17日(日)の3日間, 高知市文化プラザ「かるぼーと」7階(高知県高知市九反田2-1)の第1及び第5展示室において, 地質情報展を開催しました(写真1)。地質標情報展10周年の今回は, それを記念して, 各機関のご来賓を仰ぎオープニングセレモニーを開催しました。小学生の団体を見込んで, 平日である金曜日からの開催でしたが, 思惑がはずれ初日は85名の来場者に留まりました。しかし, 初日のオープニングセレモニーの新聞・テレビ各社の取材による放送・記事掲載のおかげで, 2日目は333名, 最終日には490名の来場者があり, 開催3日間で908名の来場者を得ることができました。

独立行政法人化する前の地質調査所時代(1997年10月)に, 「九州地質情報展 知っていますかあなたの大地-地質学が探る九州島-」が開催されてから10周年(第1表), 前年の京都地質情報展では, 長年の地学の啓蒙・普及活動が認められ日本地質学会から表彰も受けました。今回は, 10周年を記念してオープニングセレモニーを企画し, 各機関に出席をお願いしたところ, 高知県副知事(中西穂高氏), 高知大学学長(相良祐輔氏), 高知県教育委員会高等学校課

(竹村 謙氏), 四国地質調査業協会理事長(永野正展氏)の出席を仰ぎ, 主催者である産業技術総合研究所地質調査総合センター代表(佃 栄吉), 日本地質学会会長(木村 学氏)と共に仰々しくセレモニーが開催されました。佃代表の挨拶(写真2)のあと, ご来賓の方々からお言葉を頂戴しテープカット(写真3)にて終了致しました。

初日の一般来場者は少なかったのですが, 各報道機関が取材に来てくださりテレビや新聞にて紹介(第



写真2 オープニングセレモニーで挨拶する佃代表。



写真1 第1展示室入口。



写真3 オープニングセレモニーで来賓によるテープカット。

1) 地質情報展事務局 産総研 地質標本館

キーワード: 高知, 地質情報展, 日本地質学会, 普及活動, 地質調査総合センター

第1表 地質情報展の開催履歴。

	タイトル	開催年	開催日	期間	開催場所	会場	来場者数			
							総数	初日	2日目	3日目
第1回	九州地質情報展 「知っていますかあなたの大地 -地質学が探る九州島-	1997	10月10日	1日	福岡市立 少年科学文化会館	ホール 260m <sup>2</sup> (20*13m)	500強			
第2回	甲信越地方地質情報展 「ザ・フォッサマグナ」	1998	9月26日～ 27日	2日	信州大学共通 教育センター (長野県松本市)	54 番教室 54m <sup>2</sup> (9*6m) 55 番教室 72m <sup>2</sup> (12*6m) 56 番教室 96m <sup>2</sup> (12*8m) オープンスペース 28m <sup>2</sup> (4*7m) + α (廊下使用)	1,162			
第3回	中部地質情報展 「20億年のタイムトラベル」	1999	10月9日～ 11日	3日	名古屋市科学館	理工館 528m <sup>2</sup> (24*22m) 天文館 160m <sup>2</sup> (10*16m) + α (体験コーナーの一部を外で)	2,500			
第4回	山陰地質情報展 「地質が明かす くびきの里」	2000	9月29日～ 10月1日	3日	松江テルサ (島根県松江市)	多目的ホール 16*31m + α (オープンスペースを少々)	1,341	240	490	611
第5回	北陸地質情報展 「ぼくらをのせた大陸のかげら」	2001	9月21日～ 23日	3日	MRO ホール (石川県金沢市)	ホール 24*30m	951	139	404	408
第6回	地質情報展 いいがた -のぞいてみよう大地の不思議-	2002	9月14日～ 16日	3日	りゅーとびあ 4F ギャラリー (新潟市民芸術文化会館)	ギャラリー間口 17m, 奥行き 16.8m	913	195	389	329
第7回	地質情報展 しずおか -プレートの出会う場所 で-	2003	9月19日～ 21日	3日	グランシップ6F 展示ギャラリー (静岡県静岡市)	展示ギャラリー1 1423m <sup>2</sup> (20.5*20.65m) 展示ギャラリー2.3 232m <sup>2</sup> (19*6.1m*2)	1,415	490	457	468
第8回	地質情報展 ちば -海から生まれた大地	2004	9月18日～ 20日	3日	千葉県立中央博物館 2F 企画展示室ほか (千葉県千葉市)	企画展示室 250m <sup>2</sup> (10*25m) まとも映像室 80m <sup>2</sup> (10*8m) 県民ルーム 30m <sup>2</sup> (5*6m) 第2ホール 80m <sup>2</sup> (10*8m) 団体出入口オープンスペース 84m <sup>2</sup> (14*6m)	1,637	258	646	733
第9回	地質情報展 きょうと -大地が語る5億年の時間-	2005	9月18日～ 20日	3日	京都大学 吉田南1号館地階 (京都府京都市)	演習室A/B 135m <sup>2</sup> (9*7.5m*2) オープンスペース 405m <sup>2</sup> (13.5*30m)	1,270	494	467	309
第10回	地質情報展 こうち -黒潮よせるふるさとの地質-	2006	9月15日～ 17日	3日	高知市文化プラザ かるぼーと 7階市民ギャラリー 第1・5展示室	第1展示室 490m <sup>2</sup> (14*33.4m) 第5展示室 88.4m <sup>2</sup> (6.1*13.5m)	908	85	333	490
第11回	地質情報展 ほっかいど う	2007	9月7日(金)～ 9日(日)	3日						

2表)して下さいましたので、2日目・3日目の来場者増に繋がりました。誌面をお借りして御礼申し上げます。

さて、今回の地質情報展は、【展示と説明のコーナー】31タイトル、【体験コーナー】12タイトル、【特設コーナー】3タイトルで構成され、展示内容は地質調査総合センターのHP (<http://www.gsj.jp/HomePage-JP.html>) 年間イベントカレンダーの中で報告しています。ここでは、各タイトルとスナップ写真数点を紹介しますので、ご興味がありましたらHPもご覧下さい。

【展示と説明のコーナー】

- ・地質調査総合センターの紹介

- ・日本の地質百選(仮称)とGEOPARKの推進
- ・四国の地質概要
- ・四国20万分の1シームレス地質図
- ・佐川地質館所蔵化石標本
- ・高知県、室戸半島の海岸段丘を空から見てみよう
- ・付加体(四万十帯, 秩父帯, 三波川帯)
- ・南海トラフ付加体3Dアニメーション
- ・南海地震と津波-海溝型地震とはなにか-
- ・南海地震の津波アニメーション
- ・2004年スマトラ島沖地震と連動型巨大地震
- ・地下水観測-地震予知をめざして-

第2表 取材報道機関一覧.

取材日	取材機関		記事掲載・放送等	
9月15日	毎日新聞社	高知支局	9/16 朝刊27面	
	NHK	高知放送局	9/15 4回放送 (11:24・12:38・18:30・20:55)	
	読売新聞	大阪本社高知支局	9/17 朝刊27面	
	高知新聞社	編集局社会部	9/15 朝刊23面	9/16 朝刊24面
9月16日	朝日新聞社	高知総局	9/17 朝刊28面	



写真4 入場してすぐの床には、赤青メガネで見る四国周辺の立体地形図を配置.



写真5 エキジョッカーを楽しむ来場者.

- ・ 地層から発見された南海地震
- ・ 遺跡で見つかった南海地震
- ・ 海底に記録される南海地震
- ・ 四国沖の海底の構造と地殻変動の歴史
- ・ 四国沖の海底堆積物の分布と移動
- ・ 海の底の調べ方
- ・ 火山-噴火の脅威とその恵み-
- ・ 火山データベース-パソコンで火山を調べよう-
- ・ 三宅島火山周遊飛行
- ・ 三宅島2000年噴火-予測のつかなかった噴火-
- ・ 地熱資源と四国の温泉
- ・ メタンハイドレート
- ・ 環境汚染を調べる-四国の地球化学図-
- ・ 四国地域の地球物理図
- ・ 高知の砂
- ・ 天空の鉱山「鳥形山」
- ・ 四国の鉱物資源
- ・ 四国に降灰をもたらした巨大噴火
- ・ 生活の中の花崗岩

**【体験コーナー】**

- ・ 不思議なメガネで立体的に見える海や山! (写真4)

- ・ ペットボトルで地盤の液状化を再現! (写真5)
- ・ マンガン団塊を採ろう! (写真6)
- ・ フライトシミュレータ「全国版20万分の1デジタル地質図」(写真7)
- ・ 不思議な砂箱「砂変幻」! (写真8)
- ・ 砂を観察してみよう!
- ・ 遠くから飛んできた火山灰を洗ってみよう、顕微鏡で見よう(写真9)
- ・ パソコンで地学クイズにチャレンジ!
- ・ 自然の不思議「鳴り砂」
- ・ 山、川、平野の地形を実験で作ろう
- ・ いろんな石を触ってみよう・石を割ってみよう! (写真10)
- ・ 自分だけの化石レプリカを作ろう!

**【特設コーナー】**

- ・ 地質標本館がやってきた!
  - ・ 地質なんでも相談(写真11)
  - ・ 地質調査総合センターの出版物紹介・販売
- いくつかのタイトルについては、特集(その1、その2)の中で紹介していますので、引き続きお読みいただければと思います。



写真6 採泥器の模型でマンガン団塊を採ろう!



写真9 洗った火山灰を顕微鏡で観察.



写真7 フライトシミュレータ. 大人も子供も夢中.



写真10 いろんな石を割ってみよう!



写真8 砂変幻コーナー. 砂のおモチャの新作.



写真11 持ち込んだ試料を鑑定. 地質なんでも相談コーナー.

この記事が地質ニュースに掲載されるのは、2007年9月号頃とっております。9月7日(金)～9日(日)には、地質情報展2007北海道「探検! 熱くゆたかなぼくらの大地」が開催されます。当日ご来場出来ない読者のためにも、出展に関係した研究者に呼びかけ多くの記事を本誌にて紹介出来るよう努めます。ま

た、詳細は未定ですが2008年には秋田県において地質情報展を開催する話が進行中であることを付け加えます。

YOSHIDA Tomohiro (Working group of Geoscience Exhibition in Kochi) (2007) : Geoscience Exhibition in Kochi.

<受付: 2007年4月1日>